

シーホネス

「Liko社」リフトを展開 4都市に自社ショールームも

ベッドメーカー大手のシーホネス(大阪市、増本龍樹社長)は、2006年より、世界的な介護リフトトップメーカーのLiko社(スウェーデン)の製品を輸入販売している。同社の強みのベッドサイドケアに留まらず、移乗・入浴介助で起こる介護スタッフの腰痛問題に対する解決策を提供する狙いもある。ソフト面でも、同社が各地で運営するショールーム「To Do Studio」をつかって、使用法の指導や研修も実施している。



腰痛減思ト施
痛著にス之
から頭ようフォ
「職員も少う」と
有訴率した少うと
「職員からの腰痛減思ト施有訴率も少う」と

使い方・より良い活用も支援

た介護付有料老人ホーム「フォレスト垂水」(神戸市)の岩塚直之施設長は「今は抱え上げない介助をスタッフ全員で実践できている。職員からの腰痛有訴率も顕著に減少したように思う」と効果を語る。

バリエーションで利用者のQOL向上、介護職員の作業性向上を
同社の扱う「Likoリフト」の特長は、28

0種類以上あるスリングやハンガーのバリエーションの広さ。利用者の体型・ADLに適したスリング・ハンガーを選ぶことができるので「抱え

約)。同社が扱うリフトは移乗介助のみならず、立位訓練、歩行訓練、レクリエーション目的など多岐にわたる。増本龍樹社長は「ベッドだけでなく、その延長線上にある移乗・離床支援で利用者や介護職員にもお役に立つメーカーを目指したい」と意気込む。

ショールーム「To Do Studio」を千葉・名古屋・大阪・福岡で展開

上げない介助を行う上で、利用者の快適性や安全性、介護職員の作業性を高めることにも貢献する。同社を通じて、浴室に天井走行リフト「リコロ

0.20・1001)まで。問合せは同社(カスタマーサポート)012

ル242E

0.20・1001)まで。

S)を施工し

0.20・1001)まで。

